

CMRC 研究会 「構造物性研究の現状と今後の展開 ―共鳴軟 X 線散乱を中心に―」

【日時】 2013 年 3 月 12 日、13 日

【場所】 KEK 4 号館 2 階輪講室 1,2

【プログラム】

<3 月 12 日>

座長：中尾裕則

10:15-10:20 村上洋一 (KEK-PF/CMRC) 「はじめに」

10:20-10:45 富安啓輔 (東北大学高等教育開発推進センター)

「希薄不純物置換や電子ドーピングで作る LaCoO_3 の新たなスピントスオーバー」

10:45-11:10 岡本 淳 (KEK-PF/CMRC)

「共鳴 X 線散乱による室温強磁性 $\text{Sr}_3\text{YCo}_4\text{O}_{10.5}$ の電子状態研究」

11:10-11:35 藤岡 淳 (東大)

「ペロブスカイト型 LaCoO_3 薄膜におけるストレイン誘起フェリ磁性とスピン・軌道秩序の観測」

11:35-12:00 山崎裕一 (KEK-PF/CMRC)

「斜入射軟 X 線共鳴散乱による LaCoO_3 薄膜の磁気・軌道秩序の観測」

Lunch (12:00-13:30)

座長：石原純夫

13:30-13:55 打田正輝 (コーネル大)

「共鳴 X 線散乱による層状ペロブスカイト型 Ni 酸化物の磁気・軌道秩序の観測」

13:55-14:20 須田山貴亮 (KEK-PF/CMRC)

「磁場下共鳴軟 X 線散乱による人工超格子 Mn 薄膜の研究」

14:20-14:45 奥山大輔 (理化学研究所交差相関物性科学研究グループ)

「ペロブスカイト Mn 酸化物超格子のラウエフリンジの減衰として観測されるマイクロサイズの電荷軌道秩序／無秩序相分離」

14:45-15:10 宮坂茂樹 (大阪大学大学院理学研究科)

「ペロブスカイト型バナジウム酸化物におけるランダムネスによる磁気・軌道秩序制御とキャリアドーピングによるモット転移近傍の 2 次元スピンゆらぎによる臨界異常」

15:10-15:30 勝藤拓郎 (早稲田大学)

「擬三角格子上にある t_{2g} 軌道が生み出す新奇物性」

15:30-15:55 寺崎一郎 (名古屋大学)

「面共有三量体構造をもつ遷移金属酸化物の構造と機能」

Coffee break (15:55-16:15)

座長：妹尾仁嗣

16:15-16:40 森 初果 (東大物性研)

「プロトナー電子相関系分子性物質の構造物性」

16:40-17:05 小林賢介 (KEK-PF/CMRC)

「共鳴軟 X 線散乱でみた有機導体 β -(ET)₂PF₆ の電荷秩序状態」

17:05-17:30 高橋由香利 (KEK-PF/CMRC)

「共鳴軟 X 線散乱による有機強誘電体 TTF-CA の電子状態観測の試み」

17:30-17:55 石橋章司 (産総研ナノシステム)

「有機強誘電体 TTF-CA 他における XANES スペクトル計算」

17:55- 中尾朗子 (CROSS)

「J-PARC の単結晶回折計による中性子構造解析の現状」

19:30～ 懇親会 (つくばセンター付近)

<3月13日>

座長：山崎裕一

9:00-9:25 花咲徳亮 (大阪大学理学研究科物理学専攻)

「パイロクロア型ニオブ酸化物のニオブ変位の局所秩序」

9:25-9:50 岩佐和晃 (東北大院理物理)

「全対称型 f 電子自由度による相転移と揺らぎの効果」

9:50-10:05 中尾裕則 (KEK-PF/CMRC)

「共鳴 X 線散乱による PrRu₄P₁₂ の金属・非金属転移の研究」

10:05-10:30 佐賀山基 (東大新領域)

「X 線共鳴磁気散乱実験によるパイロクロア型イリジウム酸化物の磁気構造の決定」

10:30-10:55 網塚浩 (北海道大学大学院理学研究院)

「共鳴・非共鳴 X 線回折による URu₂Si₂ の隠れた秩序相の解明」